

おおきなせなかに — 夢を乗せ未来に羽ばたく元気なまち

ひより

広報だいせん

だいせん日和



未来へつなげる
未来をつくる
未来に羽ばたく
わたしたちの「だいせん」

SPECIAL NUMBER

2015

平成27年度
予算特別号

大仙市誕生から10年 新たなステージの幕開け



大仙市誕生10周年記念式典

「予算」はまちづくりの道しるべ

市では、第1回大仙市議会定例会での議決を経て成立した、平成27年度予算をもとにした事業を4月からスタートさせました。市町村合併から10年が経過し、新たなステージへと邁進する大仙市。社会情勢の変化や地域固有の課題に対応すべく作り上げられた、平成27年度予算の概要を市民の皆さんにお届けします。

予算は、市がまちづくりに必要なお金を前もって計算する1年間の収入と支出の計画です。家計に例えると、「1年間の収入がいくらで、何にどれくらい使うか」というものを示したものです。給料などの収入を「歳入」、食費や生活費、教育費などの支出を「歳出」といいます。

市の予算は、大きく分けて「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つ。これらを取りまとめた冊子が「予算書」と呼ばれるものです。

一般会計は、私たちの生活全般の施策に関する会計です。これに対し特別会計や企業会計は、特定の事業に限定した収支で経理します。

【一般会計予算】

高齢者福祉や児童福祉、保健衛生、道路整備、ごみ処理、学校教育、消防などに使うお金をまとめたものです。

市役所の基本的な仕事をする会計で、大部分がこの一般会計予算に含まれています。

【特別会計予算】

一般会計とは切り離して特定の事業ごとに経理する予算です。

主に、保険税や使用料などの特定の収入で事業を実施します。負担と受益の関係が明確になるなどのメリットがあり、市では17の特別会計を設置しています。

【企業会計予算】

民間企業と同様の独立採算の予算です。

市では、市立大曲病院事業と上水道事業の2つの企業会計を設置しています。

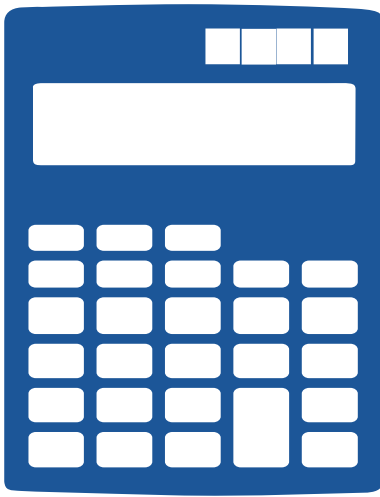
市

役所の各部局や各課は、市民の要望や意見、アイデア等をまとめ、検討しながら

昨年秋に「予算要求書」を作成しました。要求書の各事業については、大仙市にとっての優先順位や効果、財政状況など多角的に検討協議（予算査定）されて「予算案」というものになります。そしてその予算案は、市民の代表で構成される市議会で審議され、承認されると初めて正式な予算となります。

予算とは、お金の使い道をおおらかじめ決めておくことですが、それは「単なる目安」ではなく、強い拘束力を持ちます。市は、議会の承認を経て成立した予算に沿って計画どおりに事業を行わなければなりません。

部局ごとに予算編成方針を作成し、事業ごとに厳しく審査する一件審査方式で編成された予算は、今年一年の「まちづくりの道しるべ」。その内容を紹介します。



平成27年度 一般会計歳入合計

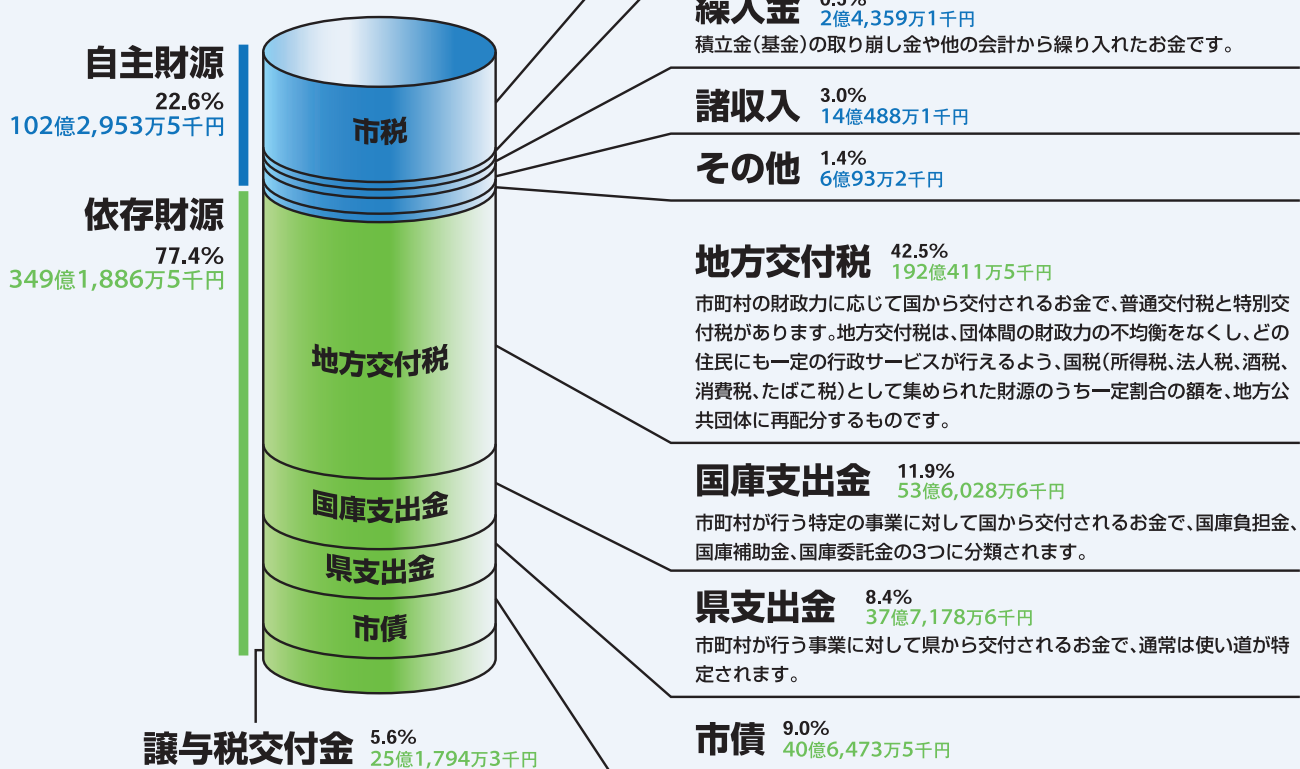
451億4,840万円

（ 自主財源 / 102億2,953万5千円 22.6%
 依存財源 / 349億1,886万5千円 77.4% ）

会計区分	平成27年度	平成26年度	比較
	当初予算額(A)	当初予算額(B)	(A) - (B)
一般会計	451億4,840万円	472億2,733万3千円	▲20億7,893万3千円
特別会計	202億1,409万2千円	198億5,651万2千円	3億5,758万円
国民健康保険事業特別会計	112億9,274万9千円	100億6,622万8千円	12億2,652万1千円
後期高齢者医療特別会計	8億5,332万8千円	8億6,558万2千円	▲1,225万4千円
土地区画整理事業特別会計	11億7,620万1千円	17億6,481万円	▲5億8,860万9千円
学校給食事業特別会計	10億3,340万8千円	19億5,741万9千円	▲9億2,401万1千円
奨学資金特別会計	3,129万2千円	3,345万2千円	▲216万円
簡易水道事業特別会計	18億3,457万9千円	12億5,547万1千円	5億7,910万8千円
公共下水道事業特別会計	17億3,433万7千円	17億1,111万1千円	2,322万6千円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	8億676万2千円	7億5,032万8千円	5,643万4千円
特定地域生活排水処理事業特別会計	2,453万円	2,479万1千円	▲26万1千円
農業集落排水事業特別会計	13億1,472万3千円	12億8,855万9千円	2,616万4千円
老人デイサービス事業特別会計	0円	5,123万2千円	▲5,123万2千円
スキー場事業特別会計	7,121万円	7,440万7千円	▲319万7万円
内小友財産区特別会計	1,446万8千円	43万円	1,403万8千円
大川西根財産区特別会計	791万9千円	41万6千円	750万3千円
荒川財産区特別会計	640万8千円	222万6千円	418万2千円
峰吉川財産区特別会計	251万9千円	540万2千円	▲288万3千円
船岡財産区特別会計	783万4千円	194万8千円	588万6千円
淀川財産区特別会計	182万5千円	270万円	▲87万5千円
企業会計	20億5,569万3千円	20億7,970万1千円	▲2,400万8千円
市立大曲病院事業会計	9億8,818万7千円	10億576万8千円	▲1,758万1千円
上水道事業会計	10億6,750万6千円	10億7,393万3千円	▲642万7千円
予算合計	674億1,818万5千円	691億6,354万6千円	▲17億4,536万1千円

平成27年度 当初予算(一般会計)歳入

収入



譲与税交付金の内訳

地方譲与税	7億5,121万4千円
利子割交付金	1,469万5千円
配当割交付金	1,929万3千円
株式等譲渡所得割交付金	710万2千円
地方消費税交付金	15億7,954万円
ゴルフ場利用税交付金	1,326万8千円
自動車取得税交付金	8,749万7千円
地方特例交付金	2,643万9千円
交通安全対策特別交付金	1,889万5千円

一般会計の中身は？

一般会計とは、福祉や道路、教育、消防など市役所の基本的な仕事に関わる収入と支出を管理する会計です。

※ グラフの割合は少数点以下第一位までの表示

収入

家族全員で稼いだ給料	122万円
市税・使用料・手数料・諸収入などの自主財源	
諸手当・ボーナス	367万円
地方譲与税・地方交付金・国庫支出金など	
銀行からの借り入れ	48万円
市債	
合計	537万円

市の予算は「億」単位で数字が大きすぎて実感がわきません。そこで市の予算を年収537万円の家庭に当てはめてみました。

市の予算にはいろんな種類の歳入や歳出があり、普通の家庭とはちょっと違った内容になっています。例えば、「食費」は必要経費として人件費を当てるなど、一般家庭の家計簿にしてみました。

支出

DATE: 平成27年度

食費	85万円	人件費	85万円
医療・教育費	72万円	扶助費	72万円
ローン返済	71万円	公債費	71万円
光熱水費・通信費・日用品の購入など	73万円	物件費など	73万円
子どもの小遣い・保険料・税金・町内会費など	96万円	補助費等	96万円
家の増改築・修繕など	66万円	普通建設事業費など	66万円
子どもへの仕送り	74万円	繰入金	74万円

合計 537万円

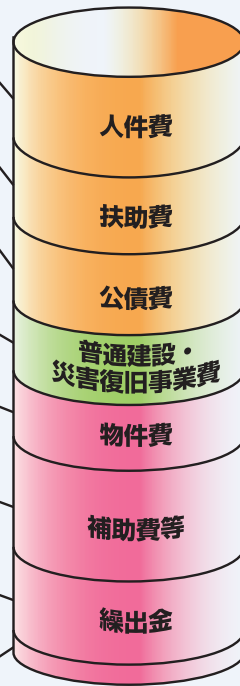
※ 年収537万円は、総務省統計局・全国消費実態調査「秋田県の1世帯当たり年間収入」である537万円を参考

市の予算を家計簿にたとえると
家計簿に見る予算

平成27年度 当初予算(一般会計)歳出(性質別)

議員報酬、職員給与など	71億2,122万3千円	15.8%	人件費
社会保障制度にかかる経費	60億1,791万6千円	13.3%	扶助費
市の借金などを償還するための経費	59億7,275万7千円	13.3%	公債費
51億606万1千円		11.3%	普通建設・災害復旧事業費
普通建設事業費: 道路や公共施設の整備に必要な経費 災害復旧事業費: 災害で被災した施設などの復旧経費			
投資的経費の内訳 普通建設事業費 50億9,820万7千円 災害復旧事業費 …… 785万4千円			
賃金、旅費、公債費、需用費など消費的性質をもつ経費	50億3,776万4千円	11.2%	物件費
81億1,131万円		17.9%	補助費等
団体などに対して行政上の目的で支払う経費			
一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用をするための経費	62億6,873万1千円	13.9%	繰出金
維持補修費: 道路や公共施設などを管理するための経費			その他
貸付金: 市が直接または間接的に現金の貸付を行う経費	15億1,263万8千円	3.3%	
積立金: 計画的な財政運営や将来負担に備えて基金等に積み立てる経費			
維持補修費 …… 4億5,481万円			
貸付金 …… 8億5,170万円			
積立金 …… 1億5,412万8千円			
予備費 …… 5,200万円			

支出



義務的経費

42.4%
191億1,189万6千円

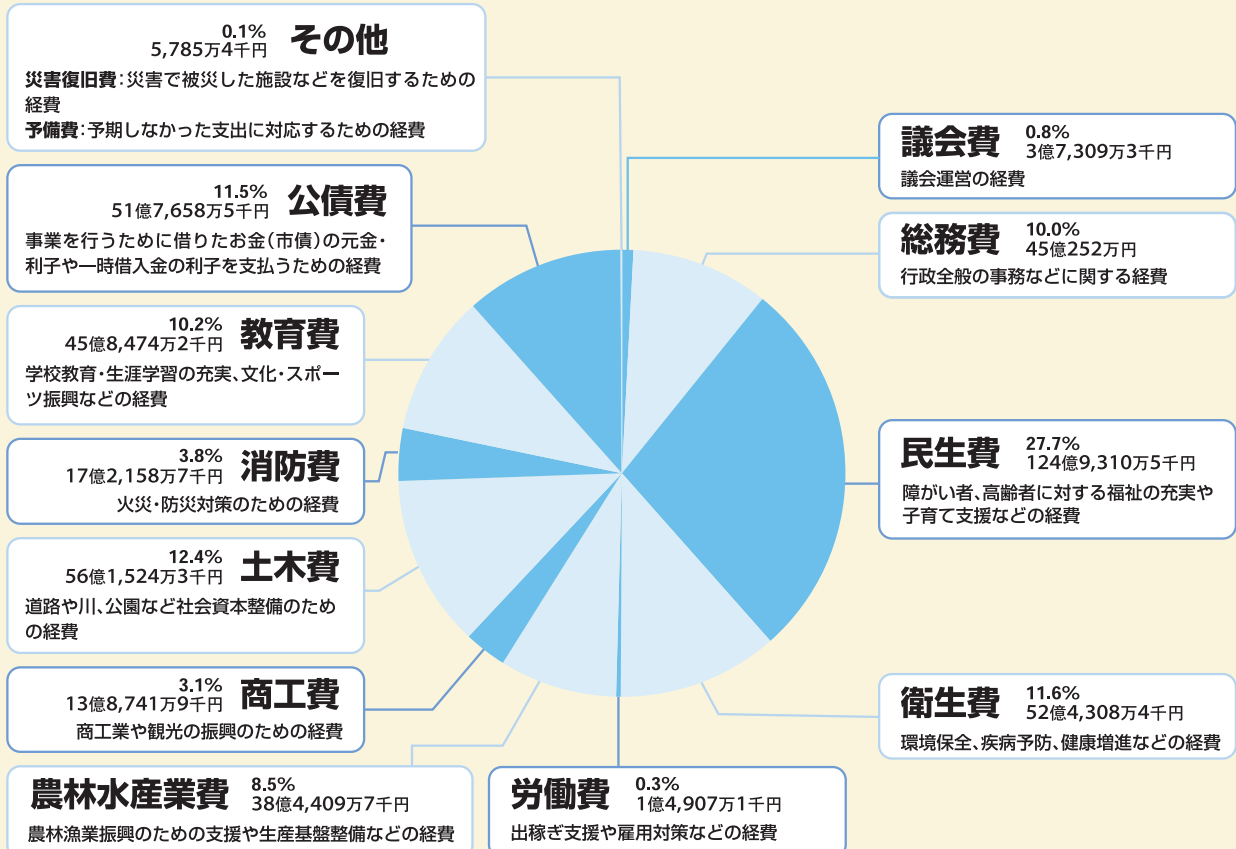
普通建設・災害復旧事業費

11.3%
51億606万1千円

その他の経費

46.3%
209億3,044万3千円

平成27年度 一般会計歳出合計
451億4,840万円



平成27年度 当初予算(一般会計)歳出(目的別)

1 安心して 健やかに暮らせる まちづくり

社会福祉課

子ども・若者育成支援事業費

979万2千円

「大仙市子ども・若者総合相談センター」を拠点に、不登校・ひきこもり等の困難を有する子ども・若者等からの相談に応じ、教育・福祉・雇用分野などの関連機関が連携し、学校復帰や社会復帰を支援します。

【事業概要】

- 気軽に参加できる居場所づくり
- 対人スキルなど自立準備トレーニング
- 復学や就労に向けた個別プログラムによる自立支援活動

社会福祉課

敬老の日事業費

4,055万2千円

高齢者の長寿を祝い、長年地域社会に貢献してきた高齢者に敬意と感謝の意を表するとともに市民の敬老意識を増進させるきっかけとします。

【事業概要】

- 敬老会の開催
- 長寿祝金の贈呈

生活支援課

障がい者等地域生活支援事業費

6,686万5千円

地域住民や関係機関と連携し、地域の特性や利用者の状況に応じた事業を行い、障がいのある方等の自立した生活を支援します。

【事業概要】

- 在宅生活への支援／障がいのある方が、在宅において自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援します。
 - ▶相談支援事業、日常生活用具給付等事業、意思疎通支援事業、理解促進研修・啓発事業
- 日中活動への支援／障がいのある方とその家族の日中活動を支援するため、介護・見守りなどのサービスや、生産活動などの機会を提供する事業を行います。
 - ▶日中一時支援事業、地域活動支援センター事業
- 権利擁護への支援／障がいのある方の権利擁護を図るため支援をします。
 - ▶成年後見制度利用支援事業、成年後見制度法人後見支援事業

生活支援課

生活困窮者自立支援事業費

新規

1,397万4千円

生活保護に至る前の段階で、生活全般にわたる困りごとに関する支援をします。

【事業概要】

- 自立相談支援事業／専門知識を有する相談員が、状況を分析し、活用できる行政サービス等を紹介します。また、支援プランを作成し、自立した生活が可能になるまで支援します。
- 住居確保給付金の支給／離職により住居を失った方や失うおそれのある方に対し、安心して求職活動ができるように、給付金を支給します。(所得制限等あり)



平成 27 年度

主な事業の説明

EXPLANATION OF THE MAIN PUBLIC ENTERPRISE



[写真右] まるこのひろばで開かれた「生き生きサロンインまるこ」
[写真左] 出産を控えた夫婦を対象に実施している「パパママ教室」

健康増進センター

母子保健推進費

拡充 5,199万6千円

女性が安心して妊娠、出産、育児ができるよう、従来の妊婦健康診査への助成に「母乳育児相談補助券」が新たに加わります。

【事業概要】

- 妊婦健康診査費助成
- パパママ教室
- 離乳食教室
- 乳幼児健康相談

健康増進センター

保健事業費

拡充 1億2,943万8千円

健康の維持・増進と病気の早期発見、早期治療を図るために各種健診(検診)を実施します。

これまで40歳以上を対象としていた胃がん検診を、平成27年度から新たに35～39歳も対象として実施します。

【事業概要】

- 各種がん検診
- 30・35歳の血液健診
- 肝炎ウイルス検診
- 成人歯周疾患検診



児童家庭課

子育て応援ふれあい促進事業費

新規 300万円

子育てにかかる経済的な負担を軽減するため、市と利子補給について連携する金融機関から借り入れた子育て資金の償還利子の一部を補助します。

児童家庭課

放課後児童クラブ管理運営費

2億822万3千円

保護者が仕事等で昼間家庭にいない児童に対し、適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成を図るため、市内21カ所で児童クラブを運営しています。

平成27年度は、神岡児童クラブを移転新築します。

国保年金課

こどもの福祉医療費

拡充 2億1,133万9千円

乳幼児・就学期の子どもに要する医療費を全額助成する制度です。県の制度の医療費助成対象者は0歳から小学生までですが、市では中学生の入院時の医療費も助成対象とし、さらに所得制限額も県の基準を緩和して実施します。平成27年8月から、新たに中学生の通院費も助成対象とします。

高齢者あんしん相談室

(地域包括支援センター)

高齢者生活支援サービス事業費

4,929万3千円

生活支援や家族介護支援などのサービスを提供し、高齢者やその家族の生活を総合的に支援します。

高齢者あんしん相談室

(地域包括支援センター)

包括的支援事業・任意事業費

2,831万8千円

高齢者の総合相談や高齢者虐待の対応などの包括的支援業務と家族介護や認知症施策に関する事業などを行います。

【事業概要】

- 権利擁護業務/成年後見制度の活用促進や高齢者虐待への対応などの業務
- 多職種連携の会/医療、介護、福祉などの関係機関との連携強化
- 認知症予防対策事業/タッチパネルを活用した検査を行い、医療や介護予防に結びつけるための教室を開催
- 認知症高齢者家族支援事業/認知症の方を介護する家族に対し、交流の場を提供する「たんぼぼの会」の開催
- 認知症高齢者地域支援事業/認知症に対する正しい知識を習得するための「認知症サポーター養成講座」の開催

未来を創り 心豊かな人を育む まちづくり

教育指導課

キャリア教育推進「総合的な 学力育成」事業費

251万2千円

キャリア教育やふるさと教育などを通して、総合的な学力を育成するためのさまざまな事業をひとまとめにし、事業の効率化とより柔軟な事業実施を図ります。

【事業概要】

- 教育アドバイザー設置事業／教育アドバイザー1人を配置し、児童生徒の心の支援や保護者の教育支援、教職員の指導支援を実施します。
- 食育推進事業／食育に関する講演会を開催します。
- 環境教育／小・中学校が連携し、環境に関する体験学習などを実施します。
- 情報モラルいじめ対策事業／情報モラルに関する講演会を開催します。

教育指導課

だいせん防災教育「生き抜く 力育成」事業費

515万2千円

大規模災害などが発生した際に避難所となる学校と地域の自主防災組織などが連携し、災害時の避難所運営について実践的な訓練を実施し、防災教育の充実と家庭や地域の防災意識の向上を図ります。また、これまで各学校で実施してきた被災地の学校等との交流活動を支援します。

教育総務課

学校施設天井等落下防止対策 事業費

6億3,219万円

大規模災害発生時における児童生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の緊急避難場所としての機能を確保することを目的として、体育館等の大規模空間における天井等落下防止対策工事を実施します。

平成26年度実施校(大曲小学校、西仙北小学校)を除く30校を対象に実施します。

【事業概要】

- 小学校／19校
- 中学校／11校

教育指導課

学校生活支援事業費

9,912万6千円

さまざまな課題をもつ小・中学校の児童生徒をサポートする支援員を配置し、個々の実情に応じたきめ細かな指導を行うことで教育環境の充実を図ります。

また、支援員を指導する教育アドバイザーを配置し、支援の向上を図るとともに学校体制の工夫改善を進めます。

平成27年度は、市内小・中学校に58人の支援員、1人の複式学級支援講師を配置します。

【事業概要】

- 学校支援員(小・中学校)／56人
- 日本語指導支援員(小・中学校)／2人
- 複式学級支援講師(小学校)／1人
- 教育アドバイザー／1人

総務課

アーカイブズ関係経費

1,233万8千円

行政運営上の役目を終えた公文書や歴史資料のうち、市政や市民の営みを伝える歴史資料として重要なものを保存し、市民の閲覧などに供するほか、これに関連する調査研究を行うことにより、「市民の知る権利」や「後世への説明責任」に応え、市民が市の営みを正しく理解し、未来のあり方について考える機会を確保します。

【事業概要】

- 公文書館の設置(実施設計)
- 旧市町村公文書の評価選別
- 歴史資料(古文書)の調査
- 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会の開催



天井を改修した大曲小学校第2体育館



大曲西中学校の避難所開設訓練



【写真右上】「国民文化祭あきた2014」の市主催事業として旧池田氏庭園で行われ、市内外から多くの観光客が訪れた「秋の園遊会」（写真は大曲農業高校郷土芸能部）
 【写真右下】国民文化祭のイベントとして開催した「子どもカメラマン教室」
 【写真左】平成27年度に保存修復工事が予定されている旧池田氏庭園の味噌蔵

文化財保護課
旧池田氏庭園整備事業費
 2,290万8千円

国指定名勝「旧池田氏庭園」の学術・鑑賞的価値の保存伝承を図るため、庭園保存整備管理計画に基づき、平成16年度から45年度までの30年計画で国庫補助事業を活用した整備を進めています。平成27年度は味噌蔵保存修復工事、園路整備工事を実施し、公開活用についての向上を図ります。

スポーツ振興課
全県500歳・550歳野球大会関係費
 拡充 3,259千円

「一生スポーツ、一生健康」のキャッチフレーズのもと、500歳野球大会と550歳野球大会を開催します。野球をこよなく愛する熟年世代の心身の健康増進と地域の活性化を図ります。また、全日本500歳野球大会（仮称）の開催に向けて、全国各地にPR・普及活動を図ります。

生涯学習課総合図書館
子ども読書活動推進事業費
 6,174千円

子どもたちが自主的に読書に親しむ習慣を身につけられるような環境づくりを進めるため、家庭や地域、幼稚園・保育所・認定こども園、学校、図書館での読書活動を推進します。

【事業概要】

- ブックスタート事業／4カ月児健診の際にブックスタートパック（絵本2冊、子育て情報誌、図書館案内、図書館利用カード申請書など）を贈呈
- 公立図書館と学校図書館の連携／子ども読書支援サポーターの配置による支援体制の強化

生涯学習課総合市民会館
総合市民会館運営費
 3,986万円

市民に優れた芸術や文化を身近で鑑賞できる機会を提供します。

【27年度の主な自主事業公演】

- 大曲市民会館／トルヴェールクワルテット（10月）
- 中仙市民会館（ドンパル）／中村雅俊コンサートツアー（10月）
- 協和市民会館（和ピア）／能公演（喜多流）（8月）
- 仙北ふれあい文化センター／民俗芸能フェスティバル（11月）

生涯学習課
芸術文化振興費
 拡充 275万7千円

芸術祭・ふるさと民謡めぐり等の芸術文化振興事業に加えて、平成26年度に開催された「第29回国民文化祭」の趣旨となった「地域文化の発信と次世代の文化継承者育成」を目的とした国民文化祭継承事業を実施します。

【国民文化祭の継承事業】

- 「囲碁サミット2014 in 大仙」継承事業／公益社団法人日本棋院との協定を継続し、「子ども囲碁大会」と「大仙囲碁合宿」を実施します。
- 「秋田の美×写真の力」継承事業／子どもたちの写真への関心を高めることを目的として「子どもカメラ教室」を実施し、その取り組みを広く発信するとともに多くの市民に鑑賞していただくため「子どもフォトコンテスト」を開催します。
- 旧池田氏庭園「秋の園遊会」継承事業／来園者に対し、呈茶や郷土芸能の披露など五感で和の風情を感じていただくおもてなし事業を実施します。



太田東小学校の農作業体験学習

3 生き活きと 希望を持って活躍できる まちづくり

産業 雇用

商工観光課

新規開店応援事業費

6,000 万円

市が指定する道路沿線に新規開店する店舗に対し、建築や改装に要する経費や設備費、賃借料の一部を助成します。

※業種・営業時間・売場面積等の要件あり

企業対策課

資格取得応援事業費

新規

150 万円

45歳未満の市民の求職者が就職に役立つ資格を取得した場合、その経費の2分の1(限度額3万円)を補助します。

60歳未満の市民に対し、職業訓練法人大曲仙北職業訓練協会が主催する特別教育講座などの受講料を市が全額負担します。

企業対策課

大仙市雇用助成金

3,785 万円

65歳未満の市民を新規雇用し、1年以上継続して雇用している事業所に対し、助成金を交付します。

【事業概要】

- 雇用促進助成金：一般10万円、新卒30万円等
- 雇用奨励助成金(設備投資等一定条件を満たした場合)：一般15万円、新卒60万円
- 圏域雇用助成金(仙北市、美郷町の企業が大仙市民を雇用した場合)：5万円

農林振興課

農業法人就農支援事業費

新規

120 万円

若手農業者の就業機会の確保と農業法人の経営強化を支援するため、通年農業を営む農業生産法人の正社員雇用に対し助成します。

【事業概要】

- 被雇用者要件
- ・45歳未満かつ就農経験5年以内
- ・国の助成対象になっていないこと
- 補助額等
- ・市新規就農研修施設や県研修施設の修了生等：60万円/年
- ・上記以外：30万円/年
- 助成期間/最長2年間

農業振興情報センター

新規就農者研修施設運営費

4,151 万 6 千円

就農意欲のある若者に対し、就農に必要な知識や複合部門の栽培技術習得などの研修を行い、将来の農業の担い手の確保・育成を図ります。

【事業概要】

- 東部新規就農者研修施設(太田)
- 西部新規就農者研修施設(西仙北)

商工観光課

大仙市首都圏PRイベント事業費

拡充

348 万 8 千円

大仙市観光物産協会が主体となり、首都圏において市の特産品販売や観光PRイベントを開催し、市の魅力を全国に発信します。

農林振興課

大豆栽培モデル対策事業費

2,260 万円

米政策の大転換や米価下落に対応し、土地利用型作物である大豆の生産を推進し、団地化や収量・品質向上に向けた取り組みを支援します。

【事業概要】

- 生産技術向上に向けた実証ほ場設置等
- 団地規模・収量・品質の実績に応じた助成
- 品質区分2等級以上の出荷割合が一定以上の経営体に助成
- 団地の連担化に協力した経営体に助成

※助成金交付対象者はいずれも経営所得安定対策等加入者

農林振興課

意欲ある稲作経営体応援事業費

新規

2,580 万 8 千円

規模拡大やコスト縮減を図り、将来も稲作を主体に意欲的に取り組む経営体を支援します。

【事業概要】

- 田植機(直播田植機アタッチメント含む)、またはコンバイン購入に係る助成
- ※農地中間管理事業を通じ規模拡大を図る認定農業者(個別経営体)が対象
- 収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)に加入する認定農業者等に対する助成

4 生活の 基盤が整った まちづくり

重点政策推進室

市街地再開発事業費

11 億 1,140 万 1 千円

事務所棟、児童福祉棟、健康福祉棟、駐車場棟からなる南街区の整備を支援します。

【事業概要】

- 市街地再開発組合に対する建設工事等補助金や増床負担金など

道路河川課

道路改良事業費

2 億 9,778 万 4 千円

幹線道路は公共施設や都市機能に対する交通利便性の向上を図り、生活道路は安全性と快適性を確保するため、道路の改良・舗装工事を進めます。

【平成27年度計画】

- 道路改良18路線、側溝改良3路線、消雪施設2カ所など

道路河川課

橋りょう長寿命化対策事業費

新規

2 億 3,276 万 6 千円

老朽化する橋りょうが増加するなか、これまでどおり安全・安心な道路交通を確保するため、橋りょうの長寿命化対策工事を進めます。

【平成27年度計画】

- 橋りょう補修・補強工事 2橋
(丸子橋:大曲、坂の上橋:中仙)
- 橋りょう定期点検 587橋

まちづくり課

地域交通対策事業費

拡充

8,358 万 9 千円

路線バスの廃止に伴う代替策や公共交通空白地域の解消策として、引き続き乗合タクシーや市民バスなどを運行するとともに、これまでの事業の検証を行い、平成28年度から5年間の第3期地域公共交通計画を策定します。

【事業概要】

- 乗合タクシーの運行(大曲、神岡、西仙北、協和、南外、仙北地域)
- 循環バスの運行(中心市街地及び周辺公共施設)
- 市民バスの運行(西仙北、南外地域)
- 中仙乗合自動車利用助成の実施
- 大仙市コミュニティバスの運行(長信田線、杉山田線、南外線)
- 区域型乗合タクシーの運行(太田地域)

企業対策課

企業雪対策支援事業費

新規

600 万円

設備投資(2,500万円以上)、雇用(新規の場合10人以上、増設の場合3人以上)した企業に対し、雪対策経費の一部を助成します。

【事業概要】

- 土地を取得し新規操業する企業:上限300万円×3年間
- その他要件を満たした企業:上限100万円×1年間



深夜の除雪作業



今秋完成を自指し工事が進められている南街区

4 生活の 基盤が整った まちづくり

総合政策課

防災ラジオ関連事業費

新規

220万4千円

コミュニティFM開局（平成27年8月予定）を機に、自動起動装置など防災機能を併せ持つ防災ラジオ（緊急告知ラジオ）を設計・開発します。

【事業概要】

- 防災ラジオ設計開発業務委託
- 緊急放送及び関連機器動作確認業務委託

総合防災課

総合防災訓練費

新規

135万1千円

市内で直下型の大地震が発生したとの想定で、自主防災組織や地域住民と防災関係各機関が連携協力し、災害応急対策等の防災活動を迅速かつ的確に行えるように総合的に訓練を行います。

総合防災課

災害に強いまちづくり事業費

1,767万4千円

自主防災組織の活動強化を支援するため、ヘルメット・担架等の防災資機材の配備や、活動経費補助金の交付、防災リーダー（防災士）を育成する等、市民の防災意識の高揚を図ります。

また、避難所等に案内看板を設置するとともに、小学校避難所に自家発電機を設置し機能の強化を図ります。

協和支所農林建設課

協和中央地区簡易水道浄水施設等更新事業費

拡充

1億1,438万6千円

協和中央地区簡易水道宮ヶ沢浄水場の水源を新設し、浄水施設等を更新します。

平成26年度から平成28年度までの継続事業で、平成27年度は浄水施設整備工事に加え、配水池整備に着手します。

協和支所農林建設課

淀川地区簡易水道水源新設事業費

拡充

1億7,734万2千円

淀川地区簡易水道の水源を新設します。

平成28年度までの継続事業として水源新設工事を実施します。

仙北支所農林建設課

仙北中央地区簡易水道整備事業費

拡充

4億183万2千円

未普及地域を含め、既存の簡易水道組合の統合整備を行います。

平成28年度までの継続事業として、簡易水道整備工事を実施します。

土地区画整理事務所

大曲駅前第二地区土地区画整理事業費

4億809万5千円

大曲駅周辺の土地区画整理事業を進め、にぎわいのある商店街の形成や宅地利用の増進など中心市街地の再生を図ります。

【事業概要】

- まるこ川通線の新設工事
- 街区公園3カ所の整備工事など

下水道課

特定環境保全公共下水道事業費

拡充

1億4,091万1千円

施設の老朽化に対応し健全性を確保するため、長寿命化対策に取り組み、計画的な改築更新を行います。協和中央浄化センターで、長寿命化対策工事を行います。また、南外地域で管路工事を継続して実施します。

西仙北支所農林建設課

半道寺地区簡易水道施設改修事業費

拡充

7,395万6千円

西部学校給食センターへの水道水の供給開始と合わせ、老朽化した現在の施設を改修します。

実施設計と水道施設改修工事を行います。

環境と調和し 快適で安全に暮らせる まちづくり



【写真上】平成25年に協和地域で実施した総合防災訓練。27年度は太田地域で実施予定。

【写真下】建て替えされる予定の天神前市営住宅(西仙北地域)



ねむのき公園の桜(写真左奥は大曲厚生医療センター)

建築住宅課

地域住宅整備事業費

1億3,537万2千円

市営住宅の修繕計画を定め、長寿命化による更新コストの削減と整備事業量の平準化を図ります。平成27年度は西仙北地域の天神前市営住宅8戸を建て替えます。

建築住宅課

住宅リフォーム支援事業費

拡充

6,909万7千円

住宅リフォーム工事を行う方に対して財政的支援を実施することにより、居住環境の向上を図るとともに、経済活性化対策として市内住宅産業の活性化と雇用の創出を図ります。

【事業概要】

- 環境対策等工事／補助率：全体工事費の10% (交付上限額20万円)
- 克雪対策工事及び耐震化工事／補助率：対象工事費の15% (交付上限額30万円)

総合防災課

消防施設・設備整備費

2,232万6千円

火事や災害に備えるため、消火栓や防火水槽等の消防水利の設置や維持管理、消防用小型ポンプや積載車等の消防団が使用する消防資機材の購入や維持管理を行います。

環境交通安全課

公共施設再生可能エネルギー等導入事業費

2億6,157万5千円

災害時に防災拠点や避難所として最低限の機能維持を図り、災害に強く環境負荷の少ない地域づくりを進めていくため、公共施設に再生可能エネルギーを導入します。

【事業概要】

導入設備／[本庁舎、神岡庁舎、中仙庁舎] 太陽光発電設備15kW (屋上設置)、蓄電池15kWh [市内避難所指定施設(44施設)] ソーラーLED街灯68基

都市管理課

ねむのき公園整備事業費

新規

3,499万2千円

大曲厚生医療センターの東側に隣接する「ねむのき公園」の再整備を行い、市街地における緑地保全を推進し、地域のコミュニティスペースである憩いの場としての魅力の創出を図るとともに、災害時の避難場所の整備を進めます。

7 計画の推進に あたって

まちづくり課

「がんばる集落」活性化支援事業費

1,292万7千円

自治組織が自ら行う維持・活性化のための取り組みを支援します。

【事業概要】

- 小規模集落・地区振興モデル支援
- 地区ビジョン策定支援
- 集落支援員導入集落活動支援

まちづくり課

地域振興事業費（地域枠）

5,500万円

市民と行政との協働のまちづくりを推進するために導入している、市独自の予算制度。地域の課題等を解決するための活動を支援します。

【配当額】

大曲地域／1,000万円

その他の地域／1地域500万円に加え、1,000万円を7地域に人口割配分

男女共同参画・交流推進課 むすび・サポート事業費

拡充

256万3千円

定期的な結婚相談会や出会いイベント等を実施し、結婚する気運を高めながら脱少子化や地域の活性化に取り組みます。

【事業概要】

- 大仙結婚を支援する会員への活動費の支給
- 成婚報奨金の支給
- イベント開催費用の一部助成

総合政策課

コミュニティFM関連事業費

新規

1億2,089万4千円

コミュニティFMの親局・中継局等を整備します。

【事業概要】

- コミュニティFM開局に伴う、親局、中継局及び放送機器等整備工事
- コミュニティFM開局準備事業補助金

総合政策課

国勢調査経費

3,313万7千円

国内の人口、世帯数及び産業構造等を把握し、各種行政施策の基礎資料を得るため調査を実施します。

まちづくり課

小規模・高齢化集落等コミュニティ対策事業費

拡充

492万2千円

小規模集落や高齢化集落の現状と課題を把握するとともに、コミュニティ機能の再生・維持・活性化につながる支援策の検討・実現を図ります。

【事業概要】

- 集落支援員による小規模・高齢化等集落の支援
- 地域おこし協力隊の募集
- 次世代地域リーダー育成研修会の実施
- 小規模・高齢化等コミュニティ対策会議の開催

仲間とふれあい ともに活躍できる まちづくり

男女共同参画・交流推進課

・協和支所市民サービス課

地域間交流事業費

159万8千円

友好交流都市協定を締結している神奈川県座間市や、有縁交流提携を結んでいる宮崎県宮崎市との交流・連携した取り組みを実施します。

【事業概要】

- 座間市大凧まつりでの交流
- 秋の宮崎神宮大祭での交流



【写真】神奈川県座間市の名物イベント「大凧まつり」。5月3日に行われる今年のまつりでは大仙市の花火師が昼花火を打ち上げる予定

情報システム課

社会保障・税番号制度システム整備費

新規

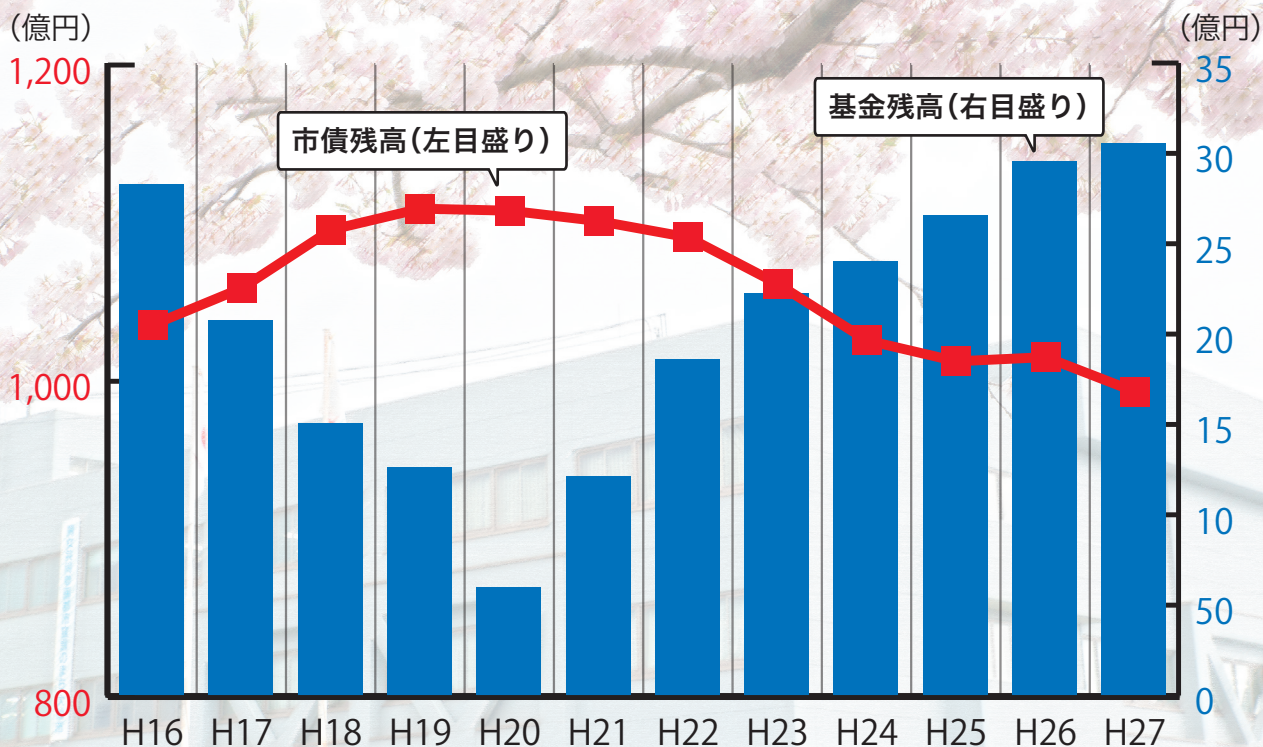
8,549万円

国が進めている社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）に合わせ、各種システムを改修します。

【事業概要】

- 住民基本台帳、地方税務、生活保護及び国民年金等システムの改修など

【グラフ】基金と市債の残高の推移



みんなが気になる 市の「貯金」と「借金」… A Talk about "Public Fund & Public Loan"

「基金」と「市債」のお話

「貯金」と「借金」の現状

市の予算にも、皆さんの家庭と同じように貯金（基金）と借金（市債）があります。それぞれの現在の残高は次のとおりです。

■ 財政調整基金残高

30億5674万円

（対前年比3・4%増）

■ 市債残高

993億4560万円

（対前年比1・9%減）

大仙市では合併当初、旧市町村が計画した多くの公共投資事業を実施したことで、基金が減少した一方、それと反比例するように借金は増え続けました。

その後、事業の見直しを行い、各年度の借入金を計画的に返済金以下に抑えることで市債残高は平成19年度をピークに減少しており、財政調整基金も平成21年度以降は順調に積み増しています。

※「財政調整基金」とは：自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金

市債で公平性を確保

市債は、道路や学校、下水道などの公共施設の建設や整備（社会资本整備）のための資金調達的手段として発行されます。

市債は借入金としての側面だけではなく、長期にわたって使う施設に要する費用をそのときの市民が全てを負担するのではなく、将来施設を利用する市民にも公平に負担してもらう重要な役割もあります。

しかし、多額の借り入れを行うことは将来の世代が多大な財政負担を背負うことになるため、できる限り抑制する必要があります。今後も公平性や返済額・借入額のバランスなどを考えながら市債を管理し、財政規律を守った計画的な借り入れと償還に努めます。

おおきなせなかに

夢を乗せ 未来に^{あす}羽ばたく 元気なまち

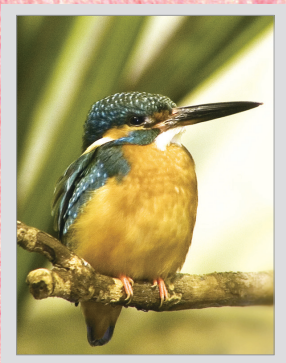
市の花木鳥



コスモス



ケヤキ



カワセミ



—大仙市民憲章—

わたくしたちのまち大仙市は、豊かな自然と広大な田園に囲まれ、先人のたゆまぬ努力によって栄えてきた歴史あるまちです。

わたくしたちは、この貴重な遺産や自然の恵みに感謝し、市民一人ひとりが誇りと責任を持って、いきいきと暮らせる100年都市をめざして、ここに市民憲章を定めます。

- 自分を高め 心を寄せ合い ぬくもりのあるまちをつくります
- ふるさとを愛し 緑の山河を守り 美しいまちをつくります
- きまりを大切に 力を合わせ みんなで働くまちをつくります
- 健康に努め 家族を思いやり 笑顔の輝くまちをつくります
- 歴史を見つめ 伝統に学び 文化の花咲くまちをつくります

平成22年3月22日制定

広報だいせん日和

— 予算特別号 2015 —

平成 27 年 5 月発行

編集発行／大仙市役所 総務部財政課・企画部総合政策課

〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号

☎0187-63-1111 (代表)

[表紙の写真] 大曲農業高校郷土芸能部の皆さん



大仙市マスコットキャラクター
「まるびちゃん」